

大手通坂之上町地区市街地再開発事業

名称は「米百俵プレイス ミライエ長岡」

大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業（施行者：独立行政法人都市再生機構）において、本市は「人づくり・学び・交流エリア」（仮称）の整備を進めています。

施設の認知度や整備目的の理解度を高めるとともに、市民から将来にわたり末永く利用され、愛される施設となるよう、名称を広く募集した結果、市内外から1,311件の応募がありました。このたび、名称選定委員会（委員長：長岡造形大学・水流潤太郎理事長）の議論を踏まえ、名称を決定しました。

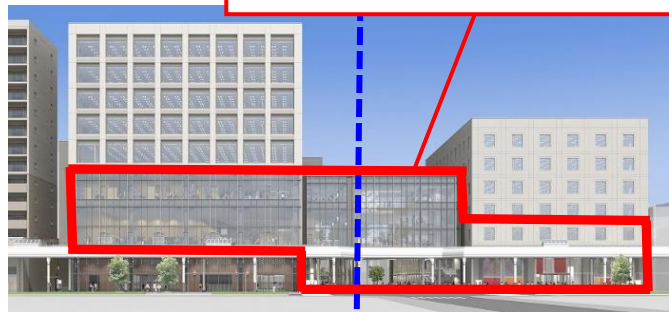
1 決定名称

米百俵プレイス ミライエ長岡
※「ス」と「ミ」の間に半角スペース

2 名称応募について

- (1) 募集期間
令和3年4月5日～5月31日
- (2) 応募資格
市民を問わず、どなたでも応募可
- (3) 選定基準
 - ①本施設のコンセプトにふさわしいもの
 - ②呼びやすく親しみやすいもの
 - ③いつまでも誰からも愛されるもの
- (4) 賞品
名称採用者（15人*から抽選で1人）…市共通商品券3万円
応募者全員から抽選で20人…3,000円相当の市特産品（米菓の詰め合わせ）
※「米百俵プレイス」11人、「ミライエ」4人

外観イメージ



A2街区：令和5年度開館

B街区：令和7年度開館

「米百俵プレイス ミライエ長岡」
A2街区(西側) 1階一部、3～5階
B街区(東側) 地下1階、1～4階の一部

3 応募結果

応募総数1,311件 ※詳細は別紙1のとおり

4 「ミライエ」応募者4人の考え

- ・「未来へ」の懸け橋になる場所になるよう願いを込めて。高齢者も若者も発音しやすく、コンセプトもわかりやすい。【10代】
- ・未来を明るく照らす人づくりを目指し、米百俵の精神が未来へずっと続いてほしいという願いを込めて。【30代】
- ・長岡市の未来へつながる施設として、人々が交流して情報を交換したり、地元企業とのコラボも円滑にできる場所を目指して。【60代】
- ・「未来へ」向かい、発展と人が交流する場を表して。【60代】

5 名称選定委員会

- (1) 設置目的
市民から将来にわたり末永く利用され、愛されるものとなるよう、施設の名称について意見を聞くことを目的に、市が設置。
- (2) 構成メンバー
施設に導入する機能の関係者等8人で構成。※委員会名簿は別紙2のとおり
- (3) 名称決定までの経緯
委員会において、名称は国漢学校跡地であることから「米百俵」にこだわりたい、また新しい感性、可能性をイメージさせたいということから、2つの名称の組み合わせ（「米百俵プレイス ○○○○」）を施設名称とし、候補として5案を選考。委員会での議論を踏まえ、市が名称を最終決定。
- (4) 「ミライエ」に対する委員の意見
 - ・ 未来に向かってというキーワードが良い。
 - ・ 米百俵の精神、過去と未来が共存しているところが良い。
 - ・ 米百俵の故事と「未来へ」で、温故知新を感じる。
 - ・ 米百俵の精神を未来へつないでほしい。
 - ・ わかりやすい。短縮して「“ミライエ”に行こう」と気軽に言える。
 - ・ 「アオーレ長岡」と同じで響きが良い。

6 今年度の予定

- (1) 現場見学会（11月開催予定）
設計士による設計コンセプトの紹介、現場における工事進捗状況の説明。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、5月開催を延期したもの。
- (2) 先行実施プログラム
まちなかキャンパス長岡や長岡造形大学等と連携した事業の実施や、小学校低学年を対象にしたプログラミング講座を12月開催予定。
- (3) 名称のロゴタイプ及びシンボルマークの制作（令和4年1月完成予定）

7 現在の進捗状況



◇各街区進捗状況
A-1街区、A-2街区、C街区の各街区とも基礎部施工中で予定通り進捗中
(令和3年9月21日撮影)